

## ワーク・ライフ・バランス推進企業の取組PR



認証番号	109	認証年度	平成 30 年度
企業（団体）名	東急建設株式会社		
本社所在地	東京都渋谷区渋谷 1-16-14		
市内事業所所在地	名古屋市中区丸の内 3-22-24		
電話番号	052-957-5810		
事業内容	総合建設業		
従業員数 (令和4年4月1日時点)	市内の事業所	92 人	(内女性) 8 人
	企業全体	2,709 人	(内女性) 319 人
その他認定・認証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市子育て支援企業</li> <li>・あいち女性輝きカンパニー</li> </ul>		
ワーク・ライフ・バランスの取組に関するウェブサイトURL	<a href="https://www.tokyu-cnst.co.jp/sustainability/employees/">https://www.tokyu-cnst.co.jp/sustainability/employees/</a>		

### (取組の経緯)

「VISION2030」でも掲げているように、「人材」は、当社グループの競争優位の源泉です。ダイバーシティ&インクルージョンを推進するため、当社では、従業員一人ひとりの能力を高め、個々の力を十分に発揮できるように人材育成の強化に取り組み、人事制度改革や働き方改革等を進めることで働きやすい社内風土を作っていきます。

### (主な取組内容)

#### 【ワーク・ライフ・バランス】

仕事と生活のバランスについては人それぞれに多様な価値観があります。当社では、あくまでも社員としての責任や職務を全うすることを前提に、それぞれが多様な生き方を選択する権利を尊重します。そして、その選択を可能にする労働条件の整備を重要課題と捉え、育児・介護休職の取得状況や取得経験者からの意見等を参考にするなど、育児・介護等に関わる社員に配慮した人事制度の拡充を図っています。

また、社員が仕事と子育てを両立させることができ、働きやすい環境を整備することによって、その能力が十分に発揮できるようにするための行動計画を策定しています。

#### 【働き方改革への取組】

2024年4月から建設業にも時間外労働の上限規制が適用されることから、2018年4月に「働き方改革推進部」を新たに設置し、働き方改革に向けた取り組みを継続的に推進しています。作業所における週休二日の定着に向け、ICT/IoT技術を駆使した施工管理の実践、思考プロセス変革やツールを生かした業務効率化の取り組みのほか、フレックスタイム制、テレワーク勤務、勤務間インターバル

などの制度も内勤のみならず作業所も対象として、2018年7月に導入しています。

### 【女性活躍推進】

当社では、入社した女性社員が職業生活において十分に能力を発揮し活躍できるよう、制度づくりや職場環境整備を進めています。女性社員を対象とした研修では、チャレンジ意欲を高め、主体的にキャリアを構築している10年先の自分を具体的にイメージする研修、管理職登用を想定してリーダーへのステップアップを支援する外部交流型研修、専門コーチによる1on1コーチングなど、各ステージに対応した成長機会を設けています。

#### 具体的施策

- ・妊娠短時間勤務制度、育児短時間勤務制度（小学6年生修了迄）
- ・配偶者出産休暇、子の看護休暇
- ・介護短時間勤務制度、介護時差出勤制度、介護休暇、介護休職（730日迄）
- ・60歳以上の短時間勤務制度
- ・フレックスタイム制度
- ・テレワーク制度
- ・勤務間インターバル制度
- ・ノー残業デーの実施（支店事務所にて週2回）
- ・ワークライフバランスセミナーの開催（育児、介護等）
- ・時間単位での年次休暇取得可能
- ・作業所特別休暇（年末年始、夏期、作業所異動時）、ボランティア休暇等

#### （効果・従業員の声）

- ・育児短時間勤務制度が小学6年生修了までであるので、安心して育児と仕事の両立ができています。（育児短時間勤務制度利用者）
- ・フレックスタイム制度の活用により、仕事のON・OFFにメリハリができ、計画的な業務遂行と家族サービスやゆとり感ある生活の両立が可能となった。（フレックスタイム制度利用者）
- ・テレワーク制度の活用により、通勤や雑務を気にすることなく業務に集中でき、効率的な業務遂行ができた。（テレワーク制度利用者）
- ・産後クライシスについてパートナーに真剣に考えてもらうことが難しいと思っていたが、セミナーで講師からの説明を受けパートナーも納得した。（ワークライフバランスセミナー参加者：女性）
- ・妊娠中、出産後の女性についてよく知ることができた。（ワークライフバランスセミナー参加者：男性）
- ・どのように介護状態が進行するのかはケースバイケースだが、セミナーに参加することで、気持ちの持ち方が少し変わった。（ワークライフバランスセミナー参加者）

## 取組内容の分かる写真等

